



おうちの人といっしょによみましょう。

H28. 2. 19

西紀小学校 ほけんしつ

♡ほけんのめあて2月♡

ことば
「ふわふわ言葉で

こころ
心をポカポカにしよう」

いま ほけんしつまえ つく
今、保健室前に「リフレーミング」コーナーを作っています。

みかた か わる おも
見方を変えることで、悪いと思っていたところもいいところになるんですね。

たと 例えば… 「あわてんぼうなんだよね・・・」→「すぐ行動ができるってすごい！」

「だらしがない・いいかげん」→「こまかいことにこだわらず、おおらかってこと」

「まわりを気にしてしまう・・・」→「まわりに心配りができるってことだね」 など



にしきしょうがっこう 西紀小学校のスクールカウンセラーである高瀬先生から、興味深い話を聞きました。人間、一人ぼっちでは生きていけません。人と一緒に仲良く生きていくヒントになりそうですね。

だよ
『スクールカウンセラー便り』

～ みんな違って みんないいはず!? ～

いち たい たすう とき
「一対多数」になった時、あなたはどのような行動をとるでしょうか？

きもち
どんな気持ちになるでしょうか？

くだいてき ばめん かんが
さて、具体的にはどんな場面が考えられるでしょうか？

なに はな あ
クラスで何か、話し合いをした。

いけん だ あ
みんなで意見を出し合った。

いけん い こ はっぴょう
いつもはっきりと意見を言うA子が、発表した。

わたし おも わたし おも い
みんな、「私もそう思う、私もそう思う」と言った。

わたし いけん ほんとう
でも、私の意見は、本当はちがった。

わたし まよ
私は、迷った。

じぶん いけん い
自分の意見を言おうか、言わないでこのままにしておこうか。



いち たい たすう
「一対多数」

たすうは ただ おも かぎ
多数派が正しいように思うかもしれませんが、でも、いつもそうとは限りません。

「一」になった人は、一人になったということで、悲しくてつらくて、言いたいことが言えなくなってしまいますね。

だから、そんな時こそ、「一」の人の言うことにも耳を傾ける（ちゃんと聞こうとする）ことを大切にしてほしいと思います。

これが「人としてのやさしさ」ではないかなと、思います。

ちが まちが 「違い」を「間違い」にしないこと

ちが い い わたし きもち だ
「違い」をおそれて言いたいことを言わないのではなく、「私の気持ち」を出せるといいですね。

あいて しんらい ゆうき おも
それは相手を信頼していることであり、とても勇気のいることだと思います。

ゆうき たが わ あ あゆ おも
その勇気が、お互いを分かり合って、歩みよるということにつながると思います。子どもにも大人にも・・・必要なことかもしれませんね。